

つづれ織り

この秋、京都はそこここで、紅葉のつづれ織りが楽しめたようです。園庭周辺も常緑の合間から真っ赤な葉っぱがのぞき、目を潤してくれます。でもやはり、つくしの圧巻はなんといっても金色に輝きそびえるイチヨウの木でしょう。

ただこれ、少し形がおかしくありません？イチヨウと言えば、ずっと天にのびた、まっすぐな樹形を想像します。ところが、わがイチヨウ。あっちへ、こっちへ、くねくね曲がりお世辞にも「かっこいい」とは言えません。なんでだろう？

陽光をあびたこずえから根元に目をやるとジャンプ、ジャンプ！Tちゃんが何度も枝に飛びつこうとしています。年長でもそう簡単には手がかからない高さに、一番下の枝は生えています。Yちゃんが来ました。「わたしにやらせて！」。ほっ、ほっ、ほっ。3回目で手がかかりました。すると次は、右足を頭より高くあげて、よっ！右足もかかりました。今度は左もあげて枝をカニばさみ。かけた手と足の力で体もちあげて枝にまとわりつかせ腰から胸へと枝にのったら、もうこっちのもの。

数日後、園内を散歩しているとTちゃんが根元でじっと上をにらんでいました。さあ、どうかな？「えいっ！」。一発できめました。数分後、2つ上の枝に立って誇らしげに下界をながめる姿。たのもしい。

子から子へ木登りの技が伝えられて、50年。伝承のつづれ織りと共にイチヨウの体も曲がりましたが、今日もまた葉を揺らし微笑みながら子どもたちを見守り続けています。

その金色のイチヨウの木の下では教会がもうすぐ50回目のクリスマスを迎えます。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<お庭のチャペル クリスマスのご案内>

毎週日曜日午前10時30分 だいが教会

12月22日は醍醐教会でクリスマス礼拝と楽しいお祝い会。

皆さまの参加を歓迎します。どうぞ家族で、また誘いあわせてお越しください。お食事300円(12/17(火)までに事務室に申込)